

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月26日

上場会社名 養命酒製造株式会社
 コード番号 2540 URL <http://www.yomeishu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月31日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(氏名) 塩澤 太郎
 (氏名) 田中 英雄

上場取引所 東 名
 TEL 03-3462-8138

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,537	△4.2	721	531.1	855	241.3	368	131.0
23年3月期第2四半期	5,781	△5.1	114	△89.8	250	△80.1	159	△78.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	12.26	—
23年3月期第2四半期	5.30	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	32,782	30,012	91.6
23年3月期	32,445	29,976	92.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 30,012百万円 23年3月期 29,976百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	18.00	18.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,440	△1.7	1,080	31.5	1,300	23.9	630	△10.8	20.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	33,000,000 株	23年3月期	33,000,000 株
24年3月期2Q	2,954,226 株	23年3月期	2,953,252 株
24年3月期2Q	30,046,020 株	23年3月期2Q	30,048,538 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
【第2四半期累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から一部に持ち直しの動きが見られたものの、電力供給不足など原子力発電所の事故による影響が長期化し、欧州債務問題や円高・株安の進行もあり、厳しい雇用情勢や個人消費の低迷等、先行き不透明な状況が続いております。

当社の関連業界におきましても、業種・業態を越えた企業間競争の激化や流通における再編、生活防衛意識の高まりによる生活者の節約志向が続く厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、当期につきましては、「養命酒」をはじめ、前中期経営計画において基盤を構築した「ハーブの恵み」、「くらすわ」等の商品及び事業に経営資源を集中することとし、収益基盤の維持、確保に重点的に取り組みました。また、新規事業領域の拡大と成長性の確保や養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築を主要戦略とする新たな中期経営計画につきましては、「持続的成長に向けた事業構造の変革」を基本方針とし、その諸施策の再検討と準備に取り組みました。

以上の結果、売上高は5,537百万円(前年同期比4.2%減)となりました。利益面では、「養命酒」と他の商品との広告費バランスを意識した計画的な販売促進活動の実施、諸経費の節減等を行い、営業利益は721百万円(前年同期比531.1%増)、経常利益は855百万円(前年同期比241.3%増)と新商品・新事業の基盤構築のために必要な費用を積極的に投入した前年同期と比較し増益となりました。また、四半期純利益は減損処理による投資有価証券評価損を計上し368百万円(前年同期比131.0%増)となりました。

セグメント別には、次のとおりであります。

①養命酒関連事業

養命酒関連事業につきましては、従来のチャネル別担当制からエリア別担当制へ変更し、営業活動の効率化に取り組むとともに、「養命酒」と他の商品との広告費バランスを意識した計画的な販売促進活動に努めました。

主力商品「養命酒」につきましては、テレビスポット広告や雑誌、新聞、ウェブ等の各種媒体の役割や訴求対象を明確にし、効率的な広告の実施や、広告と連動した店頭における販売促進活動を展開いたしました。また、東洋医学の考え方をもとに「7の倍数8の倍数」の節目となる年齢における養生をテーマとしたテレビスポット広告を実施し、主力購買層を対象とした雑誌、新聞をはじめとした印刷媒体やウェブ等により「養命酒」の商品理解の向上に努めました。

当社の生薬に関する知見と大正製薬株式会社のドリンク剤の開発力とを合わせ、平成21年9月より一部地域において先行販売をしておりましたミニドリンク剤「リオン」につきましては、パッケージをリニューアルし、商品名を「ハーブプラス Herb+」として本年9月から発売し、「養命酒」と合わせた効果的な店頭販売促進活動に着手しました。

海外におきましては、原子力発電所の事故による風評被害の影響が懸念される中、既存の東南アジア諸国を中心として各国の市場環境に即したマーケティング活動の展開に取り組み、効率的な販売促進活動を実施するとともに、「養命酒」の理解と知名度の向上に努めました。

「ハーブの恵み」につきましては、取扱店舗数の拡大に向けた店頭活動や試飲会、棚割提案による配荷促進に努めるとともに、各種イベントへの出展やキャンペーンの実施、大都市圏・戦略エリアに集中したテレビ、ラジオ、交通広告等によるプロモーションを実施いたしました。

以上の結果、「養命酒」の売上に「ハーブの恵み」、「家醸本みりん」、「ミネラルウォーター」、インターネット通信販売サイト「養命酒本舗」等の売上が合算いたしまして、養命酒関連事業の売上高は5,272百万円(前年同期比4.7%減)となりました。

②施設運営事業

「くらすわ」につきましては、生活者の皆様のニーズや季節に応じた商品・料理メニューの充実にも努めるとともに、開業1周年イベントをはじめとした各種イベントを開催し、集客や地域への貢献に努め

ました。花火大会などにより観光客が多い夏季におきましては、諏訪湖畔にある「くらすわ」のロケーションを活かした観光客の取込みに注力いたしました。また、オリジナル商品の通信販売や小売店への卸売等、販売チャネルにつきましてはその拡充に努めました。

以上の結果、「くらすわ」の売上に駒ヶ根工場見学施設「養命酒健康の森」の売上を合算いたしまして、施設運営事業の売上高は197百万円（前年同期比10.0%増）となりました。

③その他

不動産賃貸事業の売上高は、本店ビルのテナント賃貸収入などにより、67百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における総資産は、前期末に比べ336百万円増加し、32,782百万円となりました。これは主に減価償却により有形固定資産が245百万円減少した一方で、売掛金が307百万円、余剰資金の短期運用により有価証券が397百万円増加したことによるものであります。

負債は、前期末に比べ300百万円増加し、2,769百万円となりました。これは主に未払法人税等が173百万円、流動負債のその他に含まれる未払費用が211百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前期末に比べ35百万円増加し、30,012百万円となりました。これは主に四半期純利益を368百万円計上した一方で、配当金540百万円の支払いにより利益剰余金が172百万円減少したことと、その他有価証券評価差額金が209百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末に比べ171百万円増加し、3,001百万円となりました。

営業活動の結果増加した資金は、826百万円（前年同期比278.5%増）となりました。これは主に税引前四半期純利益557百万円、減価償却費318百万円、売上債権の増加額307百万円、未払費用の増加額218百万円によるものであります。

投資活動の結果減少した資金は、115百万円（前年同期比6.4%増）となりました。これは主に定期預金の預入による支出（預入と払戻の純額）100百万円、有形固定資産の取得による支出51百万円によるものであります。

財務活動の結果減少した資金は538百万円（前年同期比0.1%増）となりました。これは主に配当金の支払いによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の業績予想につきましては、平成23年10月11日に発表いたしました通り、売上高11,440百万円、営業利益1,080百万円、経常利益1,300百万円、当期純利益630百万円となる見込みであります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,989,333	1,861,319
売掛金	2,046,741	2,353,880
有価証券	2,504,819	2,902,074
商品及び製品	360,990	348,347
仕掛品	204,874	183,220
原材料及び貯蔵品	403,565	376,610
その他	174,938	295,110
流動資産合計	7,685,263	8,320,562
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,935,104	3,818,335
その他(純額)	3,398,100	3,268,920
有形固定資産合計	7,333,204	7,087,255
無形固定資産	68,554	53,693
投資その他の資産		
投資有価証券	11,506,860	11,461,942
長期預金	3,900,000	3,900,000
その他	1,958,249	1,965,051
貸倒引当金	△6,299	△6,299
投資その他の資産合計	17,358,809	17,320,693
固定資産合計	24,760,569	24,461,642
資産合計	32,445,832	32,782,205
負債の部		
流動負債		
買掛金	290,922	220,232
未払法人税等	10,568	184,449
賞与引当金	212,325	223,611
その他	932,828	1,136,002
流動負債合計	1,446,643	1,764,294
固定負債		
繰延税金負債	—	77,388
退職給付引当金	5,734	—
役員退職慰労引当金	50,850	48,350
その他	966,219	879,862
固定負債合計	1,022,803	1,005,601
負債合計	2,469,447	2,769,896

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	676,680	676,680
利益剰余金	30,612,497	30,439,920
自己株式	△2,881,662	△2,882,390
株主資本合計	30,057,515	29,884,210
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△81,129	128,098
評価・換算差額等合計	△81,129	128,098
純資産合計	29,976,385	30,012,309
負債純資産合計	32,445,832	32,782,205

(2) 四半期損益計算書
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,781,146	5,537,107
売上原価	1,960,102	1,871,640
売上総利益	3,821,043	3,665,466
販売費及び一般管理費	3,706,712	2,943,926
営業利益	114,331	721,539
営業外収益		
受取利息	27,024	26,323
受取配当金	100,895	101,850
その他	18,725	16,210
営業外収益合計	146,645	144,385
営業外費用		
支払利息	10,243	10,297
その他	128	372
営業外費用合計	10,372	10,669
経常利益	250,604	855,255
特別損失		
固定資産除却損	1,154	684
投資有価証券評価損	21,689	296,893
特別損失合計	22,843	297,578
税引前四半期純利益	227,760	557,677
法人税、住民税及び事業税	49,000	193,000
法人税等調整額	19,371	△3,587
法人税等合計	68,371	189,412
四半期純利益	159,388	368,264

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	227,760	557,677
減価償却費	398,959	318,122
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,450	11,286
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△31,386	△5,734
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△2,500
受取利息及び受取配当金	△127,920	△128,174
支払利息	10,243	10,297
有形固定資産除却損	1,154	684
投資有価証券評価損益(△は益)	21,689	296,893
売上債権の増減額(△は増加)	△102,710	△307,138
たな卸資産の増減額(△は増加)	159,089	61,252
仕入債務の増減額(△は減少)	△52,850	△70,690
未払費用の増減額(△は減少)	△225,047	218,659
未払消費税等の増減額(△は減少)	44,789	△26,073
その他	△64,679	△206,461
小計	263,541	728,101
利息及び配当金の受取額	135,148	136,609
利息の支払額	△21,358	△17,554
法人税等の支払額	△158,907	△20,442
営業活動によるキャッシュ・フロー	218,423	826,715
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,000,000	△1,500,000
定期預金の払戻による収入	1,500,000	1,400,000
有価証券の償還による収入	1,500,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△140,681	△51,177
無形固定資産の取得による支出	△4,893	—
投資有価証券の取得による支出	△1,002,535	△502,457
その他	39,173	37,684
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108,936	△115,950
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,050,000	1,050,000
短期借入金の返済による支出	△1,050,000	△1,050,000
自己株式の取得による支出	△293	△727
配当金の支払額	△538,047	△538,051
財務活動によるキャッシュ・フロー	△538,340	△538,778
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△428,854	171,985
現金及び現金同等物の期首残高	3,174,433	2,829,333
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,745,579	3,001,319

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

セグメント別売上高内訳表

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	当第2四半期累計期間 自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	前事業年度 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
養命酒関連事業	5,531,502	5,272,945	11,193,329
養命酒	5,234,208	5,061,463	10,656,807
(うち輸出分)	(216,843)	(174,674)	(465,331)
その他	297,294	211,481	536,521
施設運営事業	179,101	197,039	308,800
その他	70,542	67,123	138,545
合計	5,781,146	5,537,107	11,640,674

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。